

「計画」

真野小学校

令和 8 年度 我が校の学び力向上策

【県目標】第Ⅲ期学び力向上滋賀プラン

夢と生きる力を育むために、子どもたちの主体的な活動を通して、学び力を高める。

【令和 8 年度取組の重点】 子ども一人ひとりの「ワクワク」する学びへ

- 発達の段階を踏まえた言語活動の充実
- 1人1台端末等の効果的な活用
- 自分に合った学び方を身に付ける指導の推進

【市町の目標】

第4期大津市教育振興基本計画

「一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育」を実践する。

【学校の目標】

「安心と笑顔あふれる学校」づくりを推進する中で、子ども一人ひとりが主体的に学びに向かうことができる環境を整える。

【現状と課題】

○視点1

- (1) 全国学力・学習状況調査の結果から、特に主体的な学びに関する質問項目において全国平均を下回っており、課題となっている。授業のUD化を推進し、子どもの主体性を養っていく。
- (2) 全国学力・学習状況調査質問調査の「ICT活用」に関する質問の多くが全国平均を大きく下回っている。学習において、「1人1台端末等」をより効果的に活用することが課題となっている。「主体的・対話的で深い学び」に迫るための効果的な活用方法を探る必要がある。

○視点2

共感的な人間関係の育成は、学びの土台となることをふまえ、重点的に取り組んでいるが、より一層意識することが必要である。

○視点3

地域との協働活動は積極的に行っているが、更に充実させる必要がある。家庭との連携をより密にすることで、子どもたちの学びをより充実させていく必要がある。

取組事項および評価指標

※評価指標には、目標値を記入してください。

(例) 県学びのアンケート(児童生徒)「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、自分から取り組んでいたと思いますか」**肯定的な回答80%以上 ← 目標値**

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり

取組事項	評価指標
①授業のユニバーサルデザイン化の視点を取り入れ、一人ひとりが主体的に授業に向かうことができる授業づくり。	①教科の学習に関する質問に対する肯定的な回答が80%以上になる。【全国学力・学習状況調査】【児童アンケート】
②「主体的・対話的で深い学び」を実現するための1人1台端末の効果的な活用。	授業改善に関する質問に対する肯定的な回答が80%以上になる。【教員アンケート】
	②ICT機器活用に関する質問に対する肯定的な回答が80%以上になる。【児童アンケート】【教員アンケート】

【視点2】学びを支え合う集団づくり

取組事項	評価指標
①子どもが主体的に伝え合う授業づくり。	①教科の学習での話し合い活動に関する質問に対する肯定的な回答が80%以上になる。【全国学力・学習状況調査】【児童アンケート】
②学級活動等の特別活動を有効に活用し、共感的な人間関係を育成し、安心感のある学級づくり。	②話し合い活動や友達関係に関する質問に対する肯定的な回答が80%以上になる。【全国学力・学習状況調査】【児童アンケート】
	②支持的風土を育てる学級、学年集団づくりに関する質問に対する肯定的な回答が80%以上になる。【教員アンケート】

【視点3】協働して取り組む学校づくり

取組事項	評価指標
①地域の方との協働の充実を図ることにより、子どもの学びを深める環境づくり。	①地域の方との協働に関する質問に対する肯定的な回答が70%以上になる。【児童アンケート】【教員アンケート】
②家庭(保護者)との協働の充実を図ることにより、子どもの学びを深める環境づくり。	②家庭(保護者)との協働に関する質問(家庭学習の手引き)に対する肯定的な回答が70%以上になる。【学校評価アンケート】【教員アンケート】

◇「学び力向上策」の実効性を高めるために、職員全体で共通理解・共通実践し、検証・改善していく時期や手立て等

- ・5月の職員会議において、「学び力向上策」について共通理解を図るとともに、それぞれの取組事項に対する具体的な内容について協議する。
- ・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については、学び向上部会、視点2については、児童支援部会や特活部会、視点3については、地域連携担当が中心となって、組織的に実践につなげる。
- ・学校評価や、全国学力・学習調査等の調査における数値や意見等をもとに、改善策について(学び向上部会、児童支援部会、特活部会等)でまとめ、11月の職員会議で共有し、後半の取組につなげる。